

●ネットワークホームページの更新

2015年1月にホームページを更新しました。主な改造点は以下の通りです。

*ネットワークが今何をしているのかを解りやすく表示しました。

・運営委員会、企画WG、各分科会の議事概要を掲載しました。今後分科会等の活動内容はここをご覧ください。

・本ニュースレター（名称は活動近況報告）を掲載しました。

・人材育成への取り組みの中の活動報告に、マネジメントスクールや施設見学会等の報告を掲載しました。

*研修検索システムに、研修の相関表示（科目－対象者、科目－レベル、対象者－レベル）を追加しました。

*英語版ホームページを全面改良しました。

・基本構造は日本語版と同じです。

・研修検索システムは、対象国に海外が含まれている研修について日本語版と同様な表示機能を設けました。

なお研修施設講師検索システムについては最新のデータを掲載するため、2015年度版最新情報収集を4月初めに開始しますので関係各機関の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。（別途依頼致します）

●原子力国際人材養成コースの開催（オリエンテーション：平成27年1月8日、国際人材養成合宿：〈若手〉平成27年1月25日～1月30日、〈中堅〉平成27年1月27日～1月30日）

若手及び中堅技術者・研究者に我が国及び世界の原子力のあるべき姿を長期的かつ国際的な視野に立って考える機会を与えると同時に、福島第一原子力発電所事故後の原子力をとりまく世界情勢を知り、日本人として自ら事故/事故後の状況について説明できるよう、事故について考え、発信していくための英語コミュニケーションスキルを磨く機会を提供すべく、JAEA人材育成センターは、経産省の平成26年度安全性向上原子力人材育成委託事業として「原子力国際人材養成コース」を1月に開催しました。

今年度は、より研修効果、研修効率を最大限に高めるため、対象を若手と中堅に分け応募し、集まった若手18名（電力3名、メーカー8名、JAEA7名）には勉強と経験をしていただくことを主眼に、中堅8名（電力1名、メーカー4名、JAEA3名）には実践力をつけていただくことを主眼に実施しました。

合宿では、朝7:30から夜9:00まで、英語環境下（ブリティッシュ・ヒルズ英語研修施設）にて、講義、グループワーク、パネル、ディベートなど種々のプログラムを通し、福島での対話活動・汚染水の問題・事故収束に向けての課題や、エネルギー源としての原子力や新規導入国への海外展開の課題について意見交換、討議、発表がなされた他、英語でのプレゼン・ディスカッション・メールの仕方等をブリティッシュ・ヒルズの英語専門講師に、原子力英語や英語の勉強の仕方、日本についてどう英語で説明するか、国際的に働くということはどういうことか等について、専門家に教わりました。

終始、参加型のプログラムとなっていることにもありますが、コースは盛況で、合宿最終

日には見違える程にスキルアップした研修生各人の堂々とした英語での発表がありました。アンケート調査でも、参加者全員が大変良い又は良いとの好評価で、来年本コースが開催された場合に同僚や後輩に勧めますかとのアンケートでは、全員が勧めるとの回答でした。他にも、「英語で発表することが怖くなりました」、「英語以外で勉強になったことが多かった」、「福島について聞かれることが多いので、今後説明する際に役立つ」、「異業種の研修生との意見交換ができて良かった」等のコメントをいただきました。今後も効果的・効率的なコースを提供していきたいと考えています。

●今年度ネットワーク報告会を開催

過去 5 年間の原子力人材育成ネットワーク活動の総括を含めた今年度のネットワーク報告会が 2 月 16 日に富国生命ビル 28 階にて開催され、産官学の各界から 72 名の参加者がありました。まず 5 分科会ごとの 5 年間の総括活動報告があり、ついでネットワーク活動による人材育成の今後の在り方検討結果、様々な事業報告、いくつかの参加組織における人材育成の実例、最後にアジア諸国等を対象とした海外人材育成プログラムと今後の展開についての発表がありました。各セッションともこれまでの活動内容の周知、意見交換、活発な質疑があり、情報共有はもとより今後の人材育成活動をよりよいものとするための知見を得て、有意義な報告会となりました。なお当日の発表者資料はホームページのネットワーク報告会に掲載されています。

●第二回原子力施設見学会を企画

今年度第二回原子力施設見学会を下記のように企画いたしました。（関東は実施済）今回は参加希望者が多く両地区とも満員御礼となりました。参加者の中には過去に参加した学生が再度参加するケースや、今まで参加がなかった大学からの参加もあり、徐々に本活動は広まってきたと考えております。関東編の参加学生からは従来と同様に、“雰囲気良く自由に質問ができた”“将来の自分につなげたい”“このような技術開発に携わってゆきたい”等の前向きなコメントが多く聞かれ好評でした。原子力人材を絶やさないためにも本見学会は今後も継続して実施する予定です

*関東地区

- ・2015年2月27日(金) 新宿西口 8時発 20時帰着
- ・見学先 原子力機構那珂核融合研究所 及び 日立製作所 臨海工場と海岸工場

*関西地区

- ・2015年3月27日(金) 京都駅八条口 8時発 20時帰着
- ・見学先 若狭湾エネルギー研究センター 及び
原子力機構 高速増殖原型炉 もんじゅ

●今年度の第二回ネットワーク運営委員会は 2015 年 3 月 25 日（水）13 時半から虎の門琴平タワー3 階会議室で開催されます。